



2017年7月19日

関係各位様

日本水上スキー・ウエイクボード連盟
事務局

第62回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 大会概要

大会要項

日 程	2017年8月31日(木)から9月3日(日)
開催場所	秋田県大潟村水上スキー場
主 催	特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウエイクボード連盟
主 管	全日本学生水上スキー連盟、秋田県水上スキー連盟
後 援	秋田県、大潟村、大潟村教育委員会、公益財団法人マリンスポーツ財団 NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、 秋田魁新報社
協 賛	地元企業等
協 力	八郎潟基幹施設管理事務所、大潟土地改良区、大潟村診療所、 大潟村保健センター、ホテルサンルーラル大潟、おおがた水上スキー同好会、
競技方法	日本水上スキー・ウエイクボード連盟国内競技規則による
参加資格	日本水上スキー・ウエイクボード連盟国内競技規則に基づく有資格者
競技種目	スラローム、トリック、ジャンプの団体戦および個人戦
ク ラ ス	男子4名の3種目と女子3名の3種目での男女別大学対抗戦
運営日程	8月31日(木) 公開練習、受付 9月1日(金) 競技、開会式 9月2日(土) 競技 9月3日(日) 競技、表彰式、閉会式
表 彰	各クラスの総合および種目別の成績上位校および上位者を表彰 男女の総合優勝校には桂宮杯授与
併 催	今年度の第63回全日本選手権大会への派遣選手の選考会
公 認	今大会は、設備、環境、ジャッジから日本記録が認められる公認大会
助 成	今大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催される

大会役員は後日掲載させていただきます。

大会組織委員会

委員長	佐坂潤 全日本学生水上スキー連盟理事長
副委員長	坂田伸一 日本水上スキー・ウエイクボード連盟理事長
副委員長	杉渕正英 秋田県水上スキー連盟会長
メディカル	三輪久 日本水上スキー・ウエイクボード連盟理事



渉外	藤倉和則	全日本学生水上スキー連盟副理事長
会計	佐久間淳	全日本学生水上スキー連盟理事
ボート	杉渕正英	秋田県水上スキー連盟会長
ルール	金野浩介	全日本学生水上スキー連盟事務次長
設備、器材	松井秀彦	全日本学生水上スキー連盟理事
広報	土屋信太郎	全日本学生水上スキー連盟事務局長
委員	真田盛行	全日本学生水上スキー連盟理事
	松原伸行	全日本学生水上スキー連盟理事
	平賀敏明	全日本学生水上スキー連盟理事
	玉木孝治	全日本学生水上スキー連盟理事
	中山努	全日本学生水上スキー連盟理事
	福島賢	全日本学生水上スキー連盟理事
監事	白井淳子	全日本学生水上スキー連盟監事

ジャッジ

チーフジャッジ	石橋和樹 (日本大学 OB)
チーフドライバー	桑山恭輔 (明治学院大学 OB)
チーフスコアラー	菅井美友 (学習院大学 OG)
チーフホモロゲーター	矢部崇浩 (國學院大学 OB)
セイフティディレクター	高杉健一 (明治学院大学 OB)
ジャッジ	有資格者 15 名
スコアラー	2 名
ドライバー	有資格者 2 名
ホモロゲーター	学生連盟の選抜された学生 15 名

エントリー

エントリー費	学生連盟の規定に準ずる
--------	-------------

曳航艇情報

3 イベント共通	Ski Nautique 200CB, PCM H6 Direct injection 6.2L, 12.50 x 15.50, VR4B 1,000 Cup.150 2016 Zero-off GPS / Tournament speed control system
----------	---

公開練習

- 準備の都合と参加希望人数に応じて、練習の内容、参加人数、一人当たりの時間配分などを主催者側で調整させていただきます。ただし、準備と設営が優先されることをご了承ください。

ローカルルール

- スラロームの初速は男子 49k、女子 46k
- 男子はジャンプ台の高さを 165cm と 150cm から選択できる。
- 団体の得点はチームの出場者の男子は上位 3 名、女子は上位 2 名までの合計とする。
- 団体の総合成績は 3 種目すべてから得点を得なければならない。



運営上の注意点

- 競技規則 7.06 7.07 の適用により、救護体制は整えていますが、大会中のケガ、事故、貴重品手荷物等の盗難、紛失、駐車場での事故、盗難、トラブルについては大会組織委員会および運営組織では、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 荷物の宅配など受け取り、発送、とも取り扱いません。ご了承ください。
- 参加選手、役員、関係者の肖像権は、主催者である日本水上スキー・ウエイクボード連盟およびマリンスポーツ財団が留保します。